

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

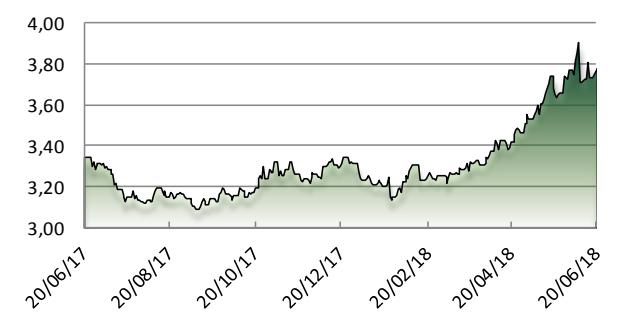
昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀がスワップ入札を見送っている中、自律的にレアル高方向へ水準を取り戻し、一時3.70台後半まで上昇。しかし、マーケット引け後にCOPOMを控えていることから一転してレアル安へ舵を切り、3.75台まで反落。そのタイミングで中銀が2万枚(10億ドル相当)の入札を通知し、3.73台半ばまで押し戻すことに成功したが、引けにかけては終始レアルは売られ、3.78台後半まで下げが加速する時間帯も見られた。そのCOPOMでは、市場予想通り政策金利Selicが全会一致で6.50%に据え置かれた。特に注目されるのは、前回5月会合時に声明文内で記載されていた、「今後の(複数の)会合について、政策金利を現状水準に維持することが適切である」との文言が削除された点であろう。Goldfajn総裁自身も、「少なくとも先々2回の会合では政策金利据え置きが妥当」との見解を示していたが、今回の声明文で、「金融政策運営の次のステップは、経済活動、リスクバランス、物価見通し及びインフレ期待次第となる」へ変更し、政策の柔軟性を担保したことは、極端なシナリオでは、「利上げもあり得る」とのオプションをマーケットに示したと考えられる。但し、中銀が従来から、「為替水準と金融政策の間に機械的な関係は存在しない」との見解を繰り返している通り、レアル相場が今後さらにレアル安方向に振れたとしても、即座に利上げを実施するとは考えにくい。引き続きスワップ介入を第1の柱として、金融政策については、「インフレ期待とリスクバランスを重視していく」とのスタンスに変化ないと想定される。

マーケットデータ

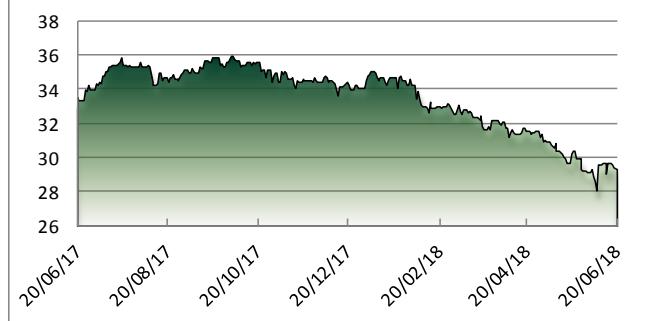
Indicator	Unit	6月19日	6月20日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値	
レアル	対ドル	BRL	3,7469	3,7721	0,67%	0,92%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,37	29,25	-0,41%	-1,32%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,3421	4,3670	0,57%	-0,71%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,06	110,36	0,27%	-0,38%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	127,56	127,72	0,13%	-2,05%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	71.394	72.123	1,02%	-13,19%	88.318	69.069	
CDS Brazil 5yrs	bps	273,30	270,61	-0,98%	33,47%	285,83	142,50	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	11,84	11,83	-0,08%	11,48%	12,40	9,43	
DI Future Jan19 (金利先物)	%	7,03	7,04	0,14%	5,31%	7,88	6,21	
3 Months US Dollar Libor	%	2,3303	2,3303	0,00%	0,04%	2,3691	1,6959	
CRB Index (国際商品指数)	Index	193,82	194,98	0,60%	-4,28%	206,95	187,35	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。